

第13回

わざわざ白神山地ふじさと写真コンクール
審査結果発表

白神山地に代表される山の魅力。地域の地場産業である農林業や人々の暮らしの場がある「里」の魅力。秋田県無形文化財に指定されている「駒踊り」の躍動美等の伝統文化。藤琴市日での人々の語らいの場など、様々な田舎の原風景や人間模様。

四季折々の魅力あふれる景観を全国に紹介するため、昨年6月から募集していた「第13回わざわざ白神山地ふじさと写真コンクール」の審査会を3月5日に行い、入賞作品25点を決定しました。

入賞した作品は町内で展示するほか、貴重な「白神山地ふじさと」の財産として、魅力の発信に活用していきます。

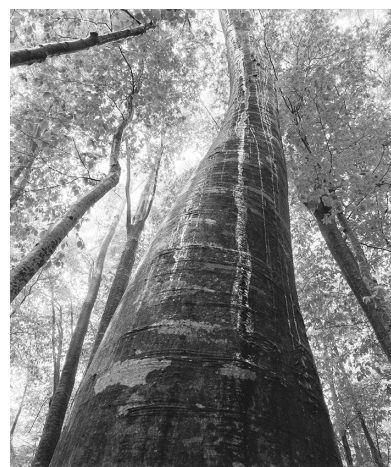
【応募状況】県内をはじめ4県の39人から197作品の応募がありました。



最優秀賞 「深緑朝光」
淡路 利行 (能代市)



優秀賞 「クマの親子」
山田 尚樹 (藤里町)



優秀賞 「樹幹流」
山田 妙子 (藤里町)



藤里賞 「マコモダケ伸びる」
吉田 慶嗣 (秋田市)

最優秀賞・優秀賞・藤里賞を除く入賞者は次のとおりです。
(敬称略)

《島田聡賞》

「冬の造形」

山田 妙子 (藤里町)

《小松ひとみ賞》

「太良峡 壁」

佐藤あい子 (秋田市)

《入選(8点)》

「移ろいの間で」

金田 勇希 (能代市)

「雪庇訪春」

淡路 利行 (能代市)

「干し餅乾燥中」

尾形 則雄 (男鹿市)

「雁 森岳」

畠山 明 (能代市)

「凍てつく木々」

山田 康広 (能代市)

「跳ね上がる駒」

山田みどり (能代市)

「雪国へ」

関口美奈子 (能代市)

「粕毛沢歩き」

山田 尚樹 (藤里町)

《佳作(8点)》

「獅子、跳ねる！」

吉田 慶嗣 (秋田市)

「田園アート」

原田 司 (秋田市)

「道端の談笑」

高橋 弘 (岩手県)

「初秋の川面」

高橋 弘 (岩手県)

「静寂」

笹森 敏雄 (青森県)

「仲良し」

山田みどり (能代市)

「滝しぶき」

佐藤 義敏 (秋田市)

「晩秋の頃」

佐藤 義敏 (秋田市)

○Instagram賞

《大賞》

「藤駒」 nao. f1st

《準賞》

「」(題名なし) rinkonokeshiki

《入選》

「パンフレットを見て行きたくなった」

藤里町 tottoda